

10・11月号

カウンセラーだより

たじま絆保育園 2021.10・11月号

皆さん、こんにちは。今回のおたよりはギリギリ間に合いそうです(苦笑)。いかがお過ごでしょうか?わりと天気も良く、日中は過ごしやすい日が多い気がします。

さて、今回のおたよりは『なぜ占いは当たる気がするのか?』についてです。楽しみながら、大切なところは把握してもらえれば嬉しいです。



「なぜ占いは当たる気がするのか?」

ふと思ったのですが、なんで占い師は、怪しいというか、ミステリアスな格好をしているのでしょうか?みんながみんなそうではありませんし、最近の?占い師は、わりと普通の格好をした人も少なくないような気がしますが。なにか共通の好みでもあるのでしょうか。神さまとのシンクロみたいな。分析的には、そうした占い師=神さまとの合体を通して、人間的な、世俗の不安、災難から遠のきたい、わたしは全知全能の神である、と仮の自信を取り入れているような気がしてなりません。預言者は太古の昔から、その国の動向や戦争に影響を与え、先日お亡くなりになられた細木数子さんも、以前テレビでお話ししていましたが、ある大物議員が5000万円を風呂敷に包んで占いを頼んできた、なんていう話も聞きました(わたしも占い師に転向しようかな笑)。カウンセラーやセラピスト(心理療法家)も未だに、男性が多いのですが、「そんな話するだけでよくなるの?」みたいなことを旦那から言われた、という話はたまに聞いたりします。実はカウンセラーやセラピストも、シャーマン(靈媒師)から派生してきた歴史がありますし、今でもスピリチュアルや宗教とは遠い親戚のような関係です。

皆さんは、占いや占い師に持つイメージは、どのような感じでしょうか?怪しい、楽しい、怖い、ドキドキする、面白い、イヤな感じ、などなど、人によって様々な感じ方、とらえ方があるでしょう。わたしは個人的に、占いが好きで、これは何年も前の話ですが、ある人に占いが好きだと言ったら、「カウンセラーさんも占いを信じるんですね」と言われました。今では信じていないというか、幸運なことだけラッキーと思って、イヤな結果のときは「どんなアドベンチャーが待っているんだ」と前向きにとらえるか、なかつたこと(見なかつたこと)にします(笑)。先ほど、神さまとのシンクロ、不安の無意識的な対処、と話をしましたが、自分も含めて、やはり自信がない時や不安が強い人の方が占いを信じる傾向にあるような気がします。逆に、自分の運命や人生に対して、自分でどうにかしてやろう、と考えている人は、そもそも占いに頼らないでしょう。そして多分、おばけがいると信じている人ほど占いを信じる傾向に、おばけなんてウソさと考えている人ほど占いあまり信じていない傾向にある気がします。これは目に見えないものに対する想像力の豊かさとも通じますが、なぜ私たちは目に見えないものに、ここまで一喜一憂するのでしょうか?ここも心理学的には面白くて、「見えないからこそ超絶的なパワーが宿っている」感じがしてしまうでしょう。しかしその想像は、だれが作り上げているものでしょうか?そうです、私たち当事者です。だからこそ、信じるか信じないかはあなた次第なのです(笑)。

占い師や、ややもすると詐欺師が使う話術にコールドリーディングというものがあります。それについては次回また詳しくお話ししますが、それを読んで頂ければ、もっと占いやおいしい話を信じてしまう心理が見えてくるはずです。それではカミング・スーン。

12月~1月のお知らせ

- 12月3日(金)・24日(金)、1月7日(金)・21日(金)・28日(金)に出勤予定です。

詳しいお時間については本園までお問い合わせください。



2・3月号のテーマは「コールドリーディング」について
お知らせ致します!是非ご覧下さい!